

## 「Thinking Farm」

Thinking Farmは、室内外の温湿度・CO<sub>2</sub>・日射量を自動計測し、植物生理モデルに基づき、光合成に最適な温度などを自動算出し表示する環境モニタリングシステムです。

### check 生育パラメータを計算

測定値だけでなく、純光合成速度、純光合成最適温度、蒸散速度、日平均気温、昼夜平均気温、飽差、理論日射、発達速度、草勢の強弱などの情報を計算して表示します。

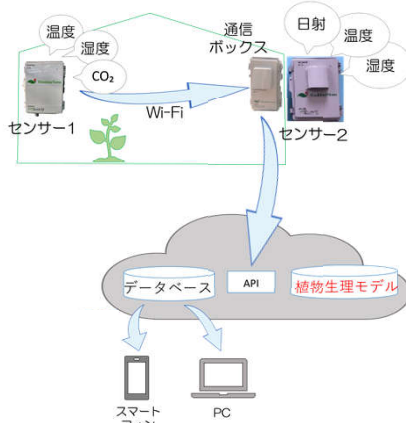


### check スマートフォンやパソコンからいつでも確認可能

各計測データやグラフ表示はもちろん、グラフの時間軸変更や過去データのダウンロードも可能です。

### check 設置が簡単

センサーと通信ボックスを設置してコンセントにさすだけです。導入したその日から使用可能です。



### check 通信費、クラウド利用料が無料

3G回線通信費・クラウド利用料が本体価格に含まれています。

### check DM-CALC機能の搭載

植物生理モデルと温室モデルから、温室のエネルギー収支や光合成速度、蒸散速度などのシミュレーションを実施できます。

### check ソフトの更新が無料

遠隔通信により自動的にバージョンアップします。

AgroInfo corporation

## 「DM-ONE」

DM-ONEは、植物の成長ポテンシャルを最大化する目標値を自動算出し、その値に近づけるように機器を制御し、温室内環境を快適化できる環境制御システムです。

### check 目標値をモデルから自動算出

光合成モデル、蒸散モデル、熱収支モデルなど農学に裏付けされた計算モデルを用いて、光合成を最適化できる環境を整えるための目標値を自動算出します。



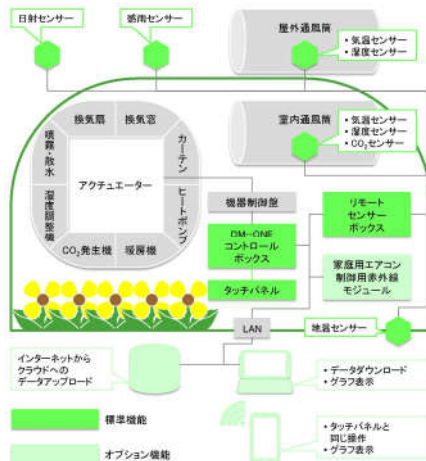
DM-ONEが管理者に代わり植物制御モデル・温室熱収支モデルを用いて目標値を算出し、温室内環境を常に最適に制御します。

### check 範囲ではなく、目標値で制御

暖房と換気の設定値から導出された範囲内に収まれば成り行きでも許容する制御ではなく、常に最適値を算出し、その値に温室内環境を近づけるように制御します。

### check 制御対象を植物生理機能に

温室内の気温や湿度の制御を通じて、可能な限り、光合成や蒸散などの栽培植物の生理機能値を制御し、成長や水ストレスを適切に調節します。



### 多彩な装置が接続可能（標準）

制御対象機器 (最大)	系統数	制御	系統数
天窓	1	ヒートポンプ	1
側窓	2	細霧装置	1
遮光カーテン	1	換気扇	1
保温カーテン	2	循環扇	1
温風暖房機	1	CO <sub>2</sub> 発生機	1

### 遠隔監視、制御が可能

(オプション機能)  
クラウドでのデータ管理  
遠隔地での監視・設定の変更などが可能になります。